

国分寺市でのペンシルロケット水平発射実験成功から60年の時を越えてつなぐ想い

私とペンシルロケット

60万種以上の世界の切手の中で
ペンシルロケットが描かれたのは
国分寺市の記念切手
2種類のみ

第10回 加藤 和宏さん

〔(公財)日本郵趣協会宇宙切手部会代表世話人〕



第50回全国切手展JAPEX2015で、出品した作品と共に

平成26年11月3日に国分寺市は市制施行50周年を迎えました。記念に発売された切手⁽¹⁾には、小惑星イトカワを目指すペンシルロケットがありました。この切手の中の小さなペンシルロケットがきっかけで、(公財)日本郵趣協会宇宙切手部会代表世話人の加藤和宏さんにお会いしました。

加藤さんは1969(昭和44)年にアポロ11号が初めて月面着陸に成功したことをきっかけに、宇宙切手の収集を始めました。今回の「私とペンシルロケット」は、収集歴47年の加藤さんが語る、切手と宇宙です。

世界で発行された切手は60万種以上、日本では7千種以上といわれていますが、ペンシルロケットを描いた切手は、国分寺市が市制施行50周年を記念して発行したオリジナルフレーム切手第1弾と第2弾の2種類があるのみで、大変貴重です。

1972年に設立した宇宙切手部会では、宇宙開発や天文を題材にした切手を収集する全国の愛好者のために、会報「コスモス」を40年以上にわたり発行し、節目ごとに宇宙切手部会展⁽²⁾を開催してきました。

昨年10月16日〜18日まで切手の博物館(豊島区目白)で開催された「ペンシルロケット60周年記念★2015宇宙切手部会展」では、国分寺市とのコラボで、切手作品で囲んだ会場を中心にペンシルロケットレプリカを展示し、訪れた約380人の観客者に日本の宇宙開発発祥の地・国分寺市と糸川英夫博士の功績を紹介することができました。

私たちは、世界中の切手やはがき・封筒・メータースタンプ⁽³⁾などの郵趣品を自分の宇宙関係テーマに沿って収集し、展示用アルバムに整理して、郵趣の世界で宇宙開発や天体観測を楽しんでいます。

これまでは旧ソ連・ロシアやアメリカなど外国の宇宙開発ばかりが目向けられがちでしたが、近年、日本の宇宙開発に対する関心も非常に高まってきています。しかし、切手に登場した日本のロケットや人工衛星の数はまだ少なく、糸川博士を描くものは残念ながら皆無です。今年9月30日〜10月2日に切手の博物館で開催された「星に



「ペンシルロケット60周年記念★2015宇宙切手部会展」公式記念カバー。会期中のみ使用された貴重なペンシルロケット記念小型印も押されている

向かって「宇宙切手部会展」では、日本郵趣協会航空部会と合同で作品展示したほか、再度、国分寺市とのコラボで、ペンシルロケット実機や実験用ロケット模型のほか、糸川博士が昭和30年代に四国で講演した際のサイン入り色紙などを発掘し、展示することができました。

さらに、「日本のロケット開発」と題する作品を新たに制作して第51回全国切手展JAPEX2016(11月4日〜6日、産業貿易センター台東館)に出品し、戦前からのロケット研究や糸川博士関連の資料、わが国の宇宙開発の歩みを示す郵趣品

を披露しました。近い将来、糸川博士を描く切手が発行されることを願っています。

▼著者プロフィール
(公財)日本郵趣協会宇宙切手部会代表世話人 同会普及委員会副委員長などに就き、郵便切手文化の振興に努める。「はてしない宇宙へ」「人類と宇宙」「宇宙の探求者たち」「コスモロジー(宇宙観)」「星の街と宇宙飛行士」などの作品を全国切手展に出品し入賞。元横須賀市職員。

(2)(公財)日本郵趣協会のイベントなど詳しくはHP <http://www.yushu.or.jp/index.html>をご覧ください
(3)郵便物に付けられている、郵便局名・年月日・郵便料金が赤色で印刷された証紙や表示

ふるさと納税のお礼に
ペンシルロケットレプリカを
贈ります

JAXA宇宙科学研究所共催・1,000機限定

■申込書での申し込み

市政戦略室までご連絡ください。申込書を郵送します。

※市HPからダウンロード可

■インターネットからの申し込み

ふるさとチョイス <http://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/13214>から

※右のQRコードからもアクセス可



★市内在住の方も申し込みできます

★寄附金額10万円(連続した2年で分割可)ごとに1機贈呈します

★確定申告またはふるさと納税ワンストップ特例制度の申請をすることで、寄附金控除を受けられます



→市政戦略室(内441)